

授業科目名	世界を知る	担当教員	山中 俊之
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1 年 第 3 クォーター		
講義内容	双方向のやり取りを通じて、「世界の今とその背景」を知り、自らの意見を持つことを目標とする。授業は、前半で毎回自分か関心を持った世界情勢について発表をしてもらい、それらについて議論する。さらに、講師が毎回のテーマについて、世界の象徴的な事件や出来事を、写真や映像、アート等を用いてビジュアルに取り上げる。本学が芸術系の大学であるのでアートからの気付きを重視する。授業後半は、グループ討論として特定課題について議論をしたり、特定国の登場人物についてのストーリーを作ったりすることで世界を極力多面的に理解できるようにする。		
到達目標	・現在世界で起きている重要なことについて、アンテナを張り、自分の言葉で説明できる。 ・世界で起きている重要なことの背景（歴史・宗教・科学）について基礎的な一定の知識を持ち、説明できる。 ・今後世界で起きることについて、自分の意見を基に語ることができる。 ・メディアの海外報道を批判的に読むことができる。 ・世界各地の文化についての理解を基に、自国の文化について多面的かつ客観的に語ることができる。		
授業計画	第 1 回：世界を知るために必要な視点は何か 第 2 回：ゲストスピーカー講演 第 3 回：ヨーロッパとキリスト教と一神教 第 4 回：ロシア・旧ソ連・東欧とウクライナ侵攻 第 5 回：SDG s カードゲーム 第 6 回：東アジアと仏教・儒教 第 7 回：ゲストスピーカー講演 第 8 回：アフリカ・ラテンアメリカ・オセアニアと先住民族 第 9 回：アメリカとイノベーション・ダイバーシティ 第 10 回：中東とイスラム教 第 11 回：インド・南アジア・東南アジアとグローバルサウス 第 12 回：補足＋全体総括とレポート書き ※上記は今後の検討や世界情勢の変化、学生の皆さんの要望によって変更します		
事前・事後 学習	・毎回 1 週間のニュースで気になったものを発表してもらい、その発表をもとに各自の意見をもってもらいます。		
テキスト	特になし		
参考文献	授業中に伝達		
成績評価 の 基 準	レポート（50%）、授業中の発言及び積極性（50%）		
履修上の注意 履修要件			

実践的教育	実践的な内容を目指します
備考欄	定員 50 人を超える場合は選考とします。選考は初回と第 2 回の積極的参加とリクレーションシートの内容と教務的な配慮(過去に展開科目落選が多い場合はその点を考慮して受講しやすくするなど) です。